

東京でも市中感染

京都で新たに3人 オミクロン株

東京都は24日、新型コロナウイルスの変異株「オミクロン株」に、海外渡航歴がなく感染経路が不明の都内在住者が感染したと発表した。「市中感染」が都内で明らかになるのは初めて。京都府でも同日、オミクロン株の市中感染例が新たに3人判明した。岸田文雄首相は年末年始の帰省や旅行について、「慎重に検討してほしい」と協力を求めた。

▼10面II社説

首相「帰省慎重に」

都が市中感染例として発表したのは、都内のクリニックに勤務する50代の男性医師でワクチンは2回接種済みという。16日の勤務終了後に発熱した後、17日の抗原検査でコロナ陽性が判明し、ゲノム解析などを経てオミクロン株への感染が確定した。現在は無症状で、医療機関に入院しているという。

男性の濃厚接触者は勤務先の職員3人と同居家族2人の計5人とされたが、い

みの女性とも接点がないと。大阪府でも最初の市中感染例として22日に発表した3人の家族で、未就学の女兒のオミクロン株感染が新たに確認された。岸田首相は24日、オミクロン株の市中感染が都内で初確認されたことに触れ、「東京でも感染への不安の

ある方は誰でも無料で検査を受けられるようにする」と表明。年末年始の帰省や旅行については「オミクロン株の動向を踏まえ、慎重に検討してほしい。私も年末、地元である広島に帰る予定を立てていたが、取りやめる」と述べ、感染対策への協力を呼びかけた。

飲み薬 国内初承認

メルク製

20万人分 週明けから

厚生労働省は24日、新型

コロナウイルスの飲み薬として開発された米メルク社の「モルヌピラビル」の国

内での製造販売を特例承認した。軽症者にも使える新規型コロナの飲み薬は国内初。政府は全国の指定の医療機関や薬局に20万人分を配達し、週明けに使えるようになる。胎児への影響を考慮し、妊婦への使用は認められない。

▼3面II期待と課題 モルヌピラビルは、細胞に感染したウイルスが増えた。軽症者にも使える新規型コロナの飲み薬は国内初。政府は全国の指定の医療機関や薬局に20万人分を配達し、週明けに使えるようになる。胎児への影響を考慮し、妊婦への使用は認められない。

すれも症状はなく、PCR検査でも陰性を確認。今後、経過観察を続ける。男性は診療中にフェースガードなどを着用していたといい、クリニックの患者は濃厚接觸者とされなかつた。また京都府は、50代男性と、同じ職場で働く30代女性2人の計3人のオミクロン株感染を発表した。3人とも海外渡航歴はなく、2回目のワクチン接種を7月11月に終えていた。府が「市中感染」として発表済